

グラフィック界の次世代を担う若手を発掘する 第24回グラフィック「1_WALL」展

2021年10月1日(金)～11月2日(火)11:00a.m.～7:00p.m.
日曜休館 入場無料

公開最終審査会 ライブ配信・要予約 詳細はWEBをご確認ください。
(当日5:30～7:00p.m.は審査のため、ギャラリーにお入りいただけません。)

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため、予定していた会期2021年8月18日(水)～9月22日(水)と9月9日(木)開催の公開最終審査会は延期し、2021年10月1日(金)～11月2日(火)に開催いたします。公開最終審査会の開催日は決定次第webサイトにてご案内いたします。何卒ご理解のほど、よろしくお願いたします。(2021/8/4 更新)

ガーディアン・ガーデンでは、個展開催の権利をかけた公募展、第24回グラフィック「1_WALL」展を開催します。ポートフォリオ審査による一次審査と、一対一で審査員と対話をする二次審査を通過したファイナリスト5名が、一人一壁面を使って作品を発表するグループ展です。ファイナリストによるプレゼンテーションの後、審査員による議論を経て、グランプリが決定します。グランプリ受賞者には、1年後の個展開催の権利と、個展制作費30万円が贈られます。

テラコッタなどの立体造形やドローイングで人の気配を表現した柿坪満実子。架空の人物と自身の2人の作品を通じたコミュニケーションを試みる佐川梢恵、森野真琴。ユニークな形を追求してコンクリートや木材、土などでインスタレーション作品を制作する高橋美乃里。日々変わりゆくことに寂寥感を覚え平面や立体作品、映像で表現する松浦知子。アルファベットをテーマに静と動の3D表現を探る汪駢。今回の「1_WALL」展は、以上5名によるグループ展です。

※ギャラリー入口で体温測定、手指消毒、マスク着用のご協力をお願いします。ご来場者様同士の社会的距離2mを確保いただき、37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛、全身倦怠感などの症状がある方は来場をお控えください。来場者多数の場合は入場制限を行うことがあります。

The 24th 1_WALL Graphics Competition

柿坪満実子
佐川梢恵、森野真琴
高橋美乃里
松浦知子
汪駢

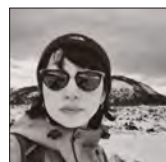
Mamiko Kakitsubo
Kozue Sagawa, Makoto Morino
Minoru Takahashi
Tomoko Matsuura
Wang Qin

Guardian Garden RECRUIT

第24回グラフィック「1_WALL」展
2021年8月18日(水)～9月22日(水)
11時～19時 日曜休館 入場無料
ガーディアン・ガーデン
<http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

グラフィック部門審査員

五十音順・敬称略



上西祐理 Yuri Uenishi | アートディレクター / グラフィックデザイ
1987年生まれ。東京都出身。2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、同年電通入社。2021年独立。今までの仕事に、世界卓球2015ポスター / テレビ東京、Laforet GRAN BAZAR 2019 SUMMER / Laforet など。趣味は旅と雪山登山。旅は42カ国達成。



田中良治 Ryoji Tanaka | ウェブ・デザイナー
1975年三重県生まれ。2003年にセミトランスベアレント・デザイン設立。主な活動に『tFont/fTime』(YGAM)、『光るグラフィック展1, 2』(クリエイションギャラリー G8)の企画、退屈展(ggg)がある。



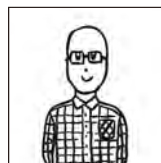
長崎訓子 Kuniko Nagasaki | イラストレーター

1970年東京生まれ。多摩美術大学染織デザイン科卒業後イラストレーターとして書籍の装画や挿絵、映画に関するエッセイ、漫画の執筆など多方面で活動中。装画に『武士道シックスティーン』『億男』など。女子美術大学ヴィジュアルデザイン専攻准教授。



服部一成 Kazunari Hattori | グラフィックデザイナー

1964年東京生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。ライブプリンティを経てフリーランス。おもな仕事に、雑誌『流行通信』『here and there』『真夜中』、エルメス「夢のかたち」「petit hのオブジェたち」のアートディレクション、「弘前れんが倉庫美術館」のVI計画など。

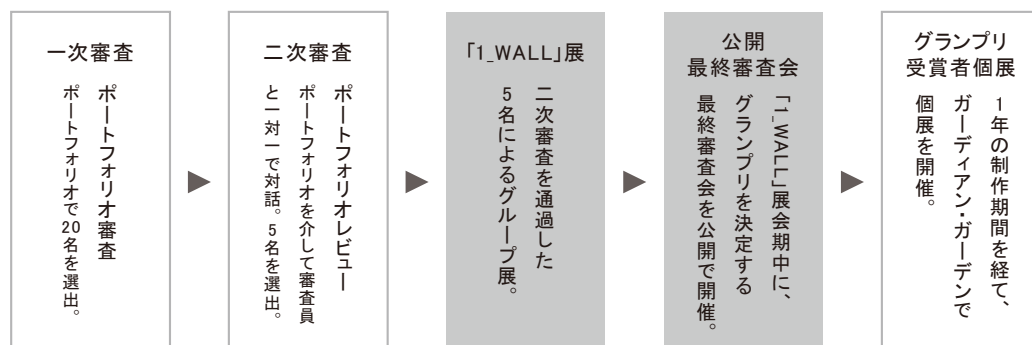


室賀清徳 Kiyonori Muroga | 編集者

1975年長岡市生まれ。1999年よりグラフィックデザイン、タイポグラフィ、視覚文化についての企画を中心に編集する。また同ジャンルについての評論、講演、展示企画を国際的に行っている。前『アイデア』編集長。近年の担当書籍に『作字百景』、Noritake『WORKS』(共にグラフィック社)など。『The Graphic Design Review』(JAGDA)編集長。

「1_WALL」審査の流れ

一次審査と二次審査を通過した
5名による最終プレゼン。
グランプリは誰の手に?



Twitter | @guardiangarden
Facebook | facebook.com/guardiangarden.tokyo
Instagram | guardian_garden

株式会社リクルートホールディングス
リクルートクリエイティブセンター
ガーディアン・ガーデン

〒104-8227
東京都中央区銀座7-3-5
ヒューリック銀座7丁目ビルB1F
TEL 03-6835-2270
WEB: <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>
担当: 阿久津 akutsu_t@rcc.recruit.co.jp

佐川梢恵、森野真琴 Kozue Sagawa, Makoto Morino
 1997年生まれ。女子美術大学ウィジュアルデザイン専攻卒業。
 「REM」森野真琴は架空の人物である。コミュニケーション不全を
 いつもどこかに感じながら、コミュニケーション未満の行為を試みる。
 私、佐川梢恵は森野真琴、あなたに試みる。



柿坪満実子 Mamiko Kakitsubo

1993年生まれ。東京藝術大学大学院彫刻専攻在籍。

「someday somewhere」もう此処にはいない誰かを思うときに、景色や物を迎えることでその人とまた会うことができる。いつかどこかで見た景色や日常のものに宿る人の気配。不確かで曖昧な人の肖像。



高橋美乃里 Minori Takahashi

1994年生まれ。多摩美術大学油画専攻卒業。

「Fossils of shelves」『物の形が変わること』をテーマに制作している。遺跡のように時間経過で物の形が変わることや、日常的に使っている物の利便性が失われた時の形に最近には特に興味がある。

汪駿 Wang Qin
 1990年生まれ。
 多摩美術大学大学院博士後期課程グラフィックデザイン領域在籍。
 「A」遊び心を持ちながら、日常に見るものや想像するものと文字の形を組み合わせて、自分らしい文字のあり方を探った。平面と動画、2Dと3D、有機と無機、アルファベットの面白さが蘇る。



松浦知子 Tomoko Matsuura

1992年生まれ。アトリエe.f.t.所属。

「それはたしか」私は日々生きていて、ひゃ〜っと色んなことを感じたりしています。そんな感じたことたちをなるべく純度高めで表現したいなあ!と想って作品を作っています。